

# 令和5年度事業報告 および 令和5年度決算

## 【概況等】

令和5年度は、感染症の5類移行によるコロナ禍からの回復に伴い、観光が本格的に再開・再始動するとともに、文化庁の京都移転や京都市立芸術大学の京都駅東部への移転など、文化首都・京都として大きな節目を迎えた年であった。

当協会が発表する京都市内主要ホテル115施設の令和5年の客室稼働率は、73.4%となり、前年の52.0%を21.4ポイント上回った。外国人比率については、令和6年3月に59.1%を記録し、7か月連続でコロナ禍前の令和元年を上回って、高い水準を維持した。

当協会は、世界水準のDMOを目指す「先駆的DMO」として、以下4つの計画方針に基づき「市民生活と調和した持続可能な京都観光」の実現に向けて各事業を実施した。

### 計画方針① 京都観光モラルの普及

本格的に観光が回復を迎えた状況を踏まえ、市民、観光客、観光事業者等、京都観光に関わる全ての方の満足度や京都観光の魅力向上を目指す「京都観光モラル」の普及啓発に引き続き努め、「持続可能な京都観光を推進する優良事業者」の表彰や「京都観光モラル推進宣言事業者」の登録等を行った。

### 計画方針② 文化と観光の融合のさらなる推進

葵祭では4年ぶりに巡行が実施され、祇園祭、時代祭を含めた三大祭全てにおいて有料観覧席を設置したとともに、祇園祭においては、観光庁「観光再始動事業補助金」を活用し、プレミアム観覧席設置等の高付加価値化を図ったほか、「京の冬の旅」をはじめとした誘致事業や、二条城売店における収益事業が観光の回復を受けて好調に推移した。また、京の食文化を発信する「京都レストランウインタースペシャル」など、京都が世界に誇る文化と観光を融合させる取組を推進した。

### 計画方針③ 本格的なインバウンド再開に向けた誘客

本格的なインバウンド再開に向け、3年ぶりに「京都市認定通訳ガイド」の新規募集を実施したほか、海外旅行商談会への出展・海外有力メディアへの取材支援等のプロモーション活動を実施するなど、積極的な受入環境整備や誘客活動を実施した。また、観光分野において優秀かつ影響力のある都市等を表彰する国際的なアワード「スイス観光賞」を受賞し、世界の優れた観光都市として高い評価を受けた。

### 計画方針④ 観光課題対策

一部の観光地や一部の観光客によって生じているマナーや混雑問題については、京都府警等とも連携し、新たなマナー啓発コンテンツを制作・発信したほか、「手ぶら観光」推進のための特設サイト「HANDS FREE KYOTO」の大幅改修等を実施した。また、「とっておきの京都」エリアや「朝観光・夜観光」のプロモーション強化など、場所と時間の分散化に積極的に取り組んだ。

その他、京都の観光産業で働く魅力等を発信する特設サイト「京都観光はたらくNavi」の開設等、業界の担い手不足の改善に向けた取組を実施した。

## 【参考】令和5年度計画方針（令和5年3月23日理事会承認）

### 計画方針① 京都観光モラルの普及

持続可能な京都観光の実現には、市民生活と観光の調和は欠かすことができない。市民、観光客、観光事業者・従事者等、京都観光に関わる全ての方の満足度の向上を図り、それにより京都観光の魅力をさらに高め、将来にわたって発展していく好循環を目指す京都観光モラルを引き続き普及させる。

京都観光モラルに沿った取組を推進する事業者を募集・認定・公表するほか、「持続可能な京都観光を推進する優良事業者表彰」を実施する。

<関連する主な取組>

京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発

### 計画方針② 文化と観光の融合のさらなる推進

文化庁の京都移転、京都市立芸術大学の京都駅東部への移転を契機に、京都が世界に誇る文化と観光を融合させる取組を推進する。

4年ぶりに行列を実施する葵祭に祇園祭、時代祭を含めた三大祭における観覧席設置事業の高付加価値化や、京の夏の旅と冬の旅における文化財の特別公開、京の食文化を発信する京都レストランウインタースペシャルなど、文化と観光が両輪で実現する事業を展開する。

<関連する主な取組>

京の夏の旅・京の冬の旅キャンペーン、三大祭観覧席設置事業、伝統行事執行補助、伝統文化・伝統産業等の体験型事業（京都「千年の心得」）、京の食文化魅力発信事業、重要文化財施設「旧三井家下鴨別邸」の管理運営

### 計画方針③ 本格的なインバウンド再開に向けた誘客

本格的なインバウンドの再開に向け、積極的な誘客と受入環境の整備を行う。

コロナ禍の中止を経て再開するファムトリップでの取材支援や海外有力メディアを通じた情報発信の強化、世界的に有名な富裕層向けの商談会であるILTM（International Luxury Travel Market）等への出展等により、世界に対する京都のプロモーションを強力に進める。

また、3年ぶりとなる京都市認定通訳ガイドの新規募集、市内の免税店を対象とした多言語コールセンターの運営等を行う。

<関連する主な取組>

多言語サイト「Kyoto City Official Travel Guide」の運営、SNSを活用した情報発信、海外情報拠点の運営、海外旅行商談会等出展、海外メディア取材支援、貸出用写真・動画素材の拡充、京都コンシェルジュ研究会、京都市認定通訳ガイドの育成・活躍支援、多言語コールセンター

## 計画方針④

### 観光課題対策

コロナ禍以前に一部の観光地で生じていた観光客の集中による混雑に対し、コロナ禍では密の回避というこれまでとは違った視点から対策を行ってきた。ライブカメラの設置や観光快適度マップの運用などデジタルを用いた対策や、時期・時間・場所の3つの分散化といったこれまでから進めてきた取組みを、多言語化等によりさらに発展させ、より一層の混雑抑制を目指す。

また、文化や生活習慣等の違いから生じる一部の外国人をはじめとした観光客のマナー問題についても、コロナ禍前から取組みを継続している。インバウンドの再開に伴い、外国人観光客向け啓発コンテンツの開発や観光事業者を通じた観光客へのマナー啓発等を行う。

<関連する主な取組>

京都観光公式WEBサイト「京都観光Navi」の運営、多言語サイト「Kyoto City Official Travel Guide」の運営、SNSを活用した情報発信、京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発、マナー啓発、混雑可視化による分散化、多様なエリアの魅力発掘・発信や、隠れた名所の活用（場所の分散化）、朝観光・夜観光の推進（時間の分散化）、買物環境整備・キャッシュレス促進

## <実施事業詳細>

### I 観光都市京都の紹介宣伝事業（公益目的事業会計）

#### 1 JR各社との連携活動

##### (1) JR西日本との連携

九州、北陸、中国地区からの観光客誘致を図るため、JR西日本との共同事業「京都・大阪・神戸観光推進協議会」に参画し、京都・大阪・神戸の三都市間で連携した誘致を行った。公式SNS等での三都市のブランディングや旅行商品造成による集客の他、大阪・関西万博を見据えた三都協議会ならではの観光素材の発掘・発信等を通じ広域観光を推進し、三都市の魅力発信に努めた。



##### (2) JR東海との連携

最重点市場である首都圏及び東海道新幹線沿線地区からの観光客誘致を図るため、JR東海の媒体をはじめ、マスコミを活用した幅広い京都PR及び観光コンテンツの充実を推進した。



##### (3) JRグループ6社共同キャンペーンと連携した観光振興の継続実施

昭和54年度より長年にわたり実施しているJRグループとの「京の冬の旅」キャンペーンについて、冬季の観光振興を図る最重点事業として、令和6年度以降も引き続きJRグループ6社によるデスティネーションキャンペーンとして実施できるよう要請した。また、全国宣伝販売促進会議等の活用、主

要事業との相乗により会員をはじめとした観光事業者の参画、夜観光の素材提案等、キャンペーン効果の更なる波及を促進した。

## 2 情報発信の充実

### (1) 京都観光公式WEBサイト「京都観光Navi」の運営

「京都観光Navi」において、イベント情報を中心に継続的に発信し、観光客の利便性向上に努めた。令和5年度の主な実績は以下のとおり。

指標	令和5年度	令和4年度
ページ閲覧回数	2,320 万回※	2,931 万回
延べサイト訪問者数	1,004 万人※	930 万人

※令和5年途中にGoogle Analytics（測定に用いる機能）の仕様変更があったため、前年との単純比較はできない。

#### ① トップページのリニューアル（令和5年10月～）

画面上部のメニュー（グローバルナビ）を整理するとともに、ニーズの高いイベント情報をトップページから検索できるようにした。また、京都観光Naviぷらす・とっておきの京都・朝夜観光ページの最新記事を自動表示させることで、サイト間の回遊性を高めた。



#### ② 観光課題への注意喚起（令和5年10～11月・令和6年3月）

臨時手荷物預かり所や仮設ポータブルカメラ、地下鉄・バスの増発情報など、京都市の観光課題対策に関する広報を1ページにまとめ、観光客にわかりやすく伝えた。



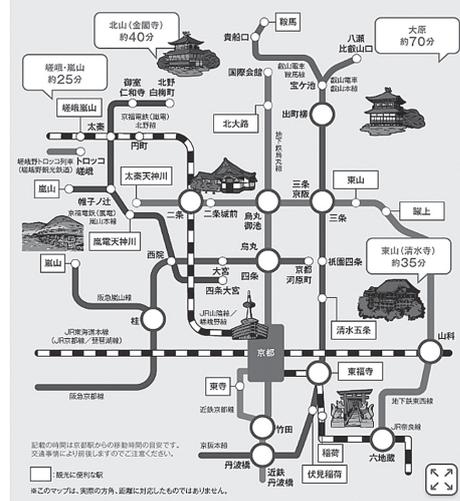
秋の注意喚起情報ページ



春の注意喚起情報ページ

③ 交通案内ページのリニューアル（令和6年3月）

混雑を避けて快適に移動していただけるよう、主要観光地へのアクセス、お得な企画乗車券、交通手段別活用法などを再編集した。ページ作成に使用する素材や記載内容を京都市交通局のPRと共通化し、観光客へのメッセージを統一した。



④ 認定メディアまとめサイト『Kyoto Official Media Partners』の公開（令和6年3月）

記事掲載や広報において相互協力等を希望するWEBメディア運営事業者を募集・審査し、10社を「メディアパートナー」に認定した。観光課題の解決に資する記事や市民がおすすめする穴場スポット、伝統文化・工芸、食文化の理解促進等をテーマとする記事を掲載した。



⑤ 市内イベント情報／中止・延期情報について発信（随時）

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
イベント情報更新	1,322件	1,112件	+18.8%



⑥ 年末年始の行事、交通について発信（令和5年12月）

京都総合観光案内所（京ナビ）と連携し、年末年始の行事・交通情報を掲載した。

- ・初詣スポットに加え、年末に賑わう錦市場のライブカメラを追加した。
- ・京の冬の旅に先駆け、干支「辰（龍）」にまつわるスポットをまとめた。



(2) 多言語サイト「Kyoto City Official Travel Guide」の運営

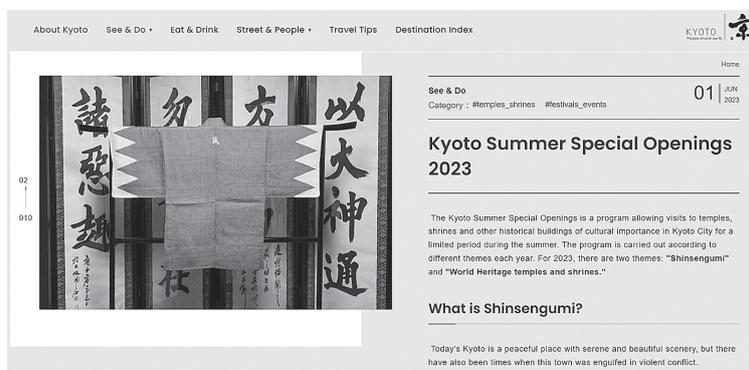
京都ブランドの維持向上や海外渡航再開後の来訪機運を醸成するため、関心の高いテーマについて、記事を定期的に発信した。また、浸透に一定時間を要する観光モラルやマナー情報について継続して情報を発信した。令和5年度の主な実績は以下のとおり。

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
ページ閲覧回数	328万回※	152万回	+115.7%
延べサイト訪問者数	143万人※	64万人	+123.4%
掲載記事件数	92件	67件	+37.3%

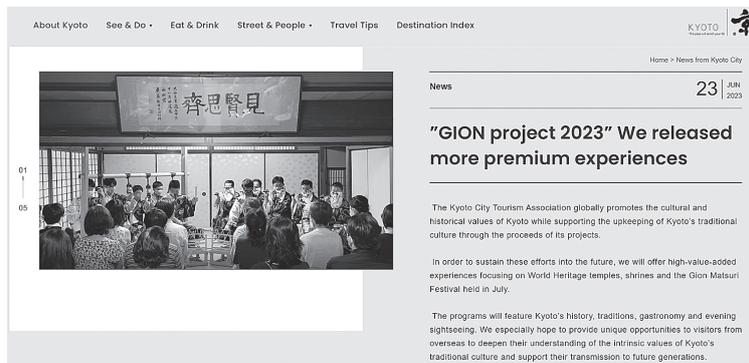
※令和5年途中でGoogle Analytics（測定に用いる機能）の仕様変更があったため、前年との単純比較はできない。

① 各種集客事業の宣伝ページの開設

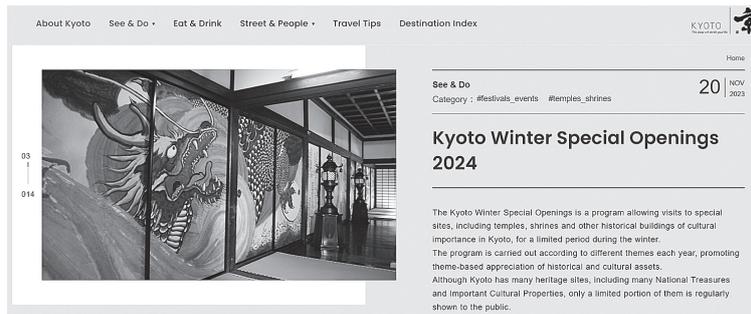
増加する海外からの旅行者に対応するため、外国人観光客向けの集客事業に関する情報を英語で発信するページを開設した。



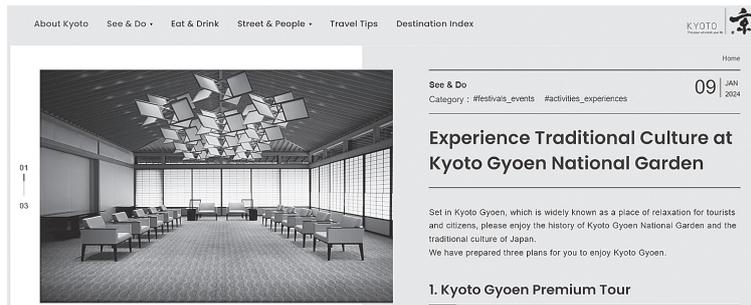
「京の夏の旅」英語ページ（令和5年6月）



「GIONプロジェクト2023」（令和5年7月）



「京の冬の旅」英語ページ（令和5年11月）



「京都御苑プロジェクト」(令和6年1月)



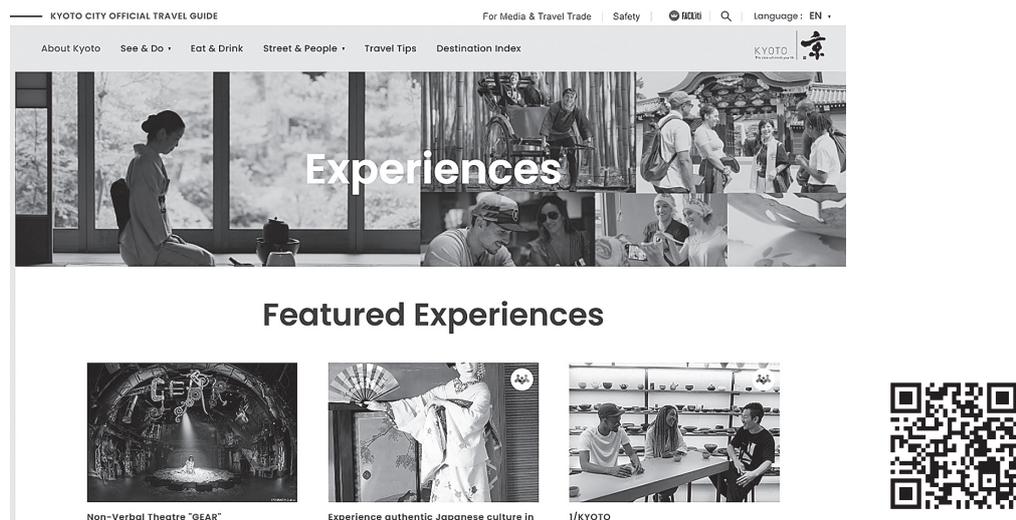
② Transportationページ リニューアル（令和6年3月）

閲覧数の多い交通案内情報ページについて、Getting to Kyoto（京都へ行く）とGetting Around Kyoto（京都を巡る）に分け、掲載内容の再編集を行った。



③ Experiencesページの開設（令和6年3月）

「インバウンドイノベーション京都」事業で採択した事業者による体験型商品など、京都の多様な体験を紹介するページを開設し、令和5年度は37件の商品を掲載した。



### (3) SNSを活用した情報発信

「京都市観光協会経営戦略2025」の経営指標として、Facebook（日本語、英語）やTwitter、Instagramの公式アカウントにおけるフォロワー数を掲げており、令和6年度末までにFacebook日本語アカウントは5万人、Facebook英語アカウントは60万人、Instagramは4万人、Xは3万人を目標としている。

これら公式アカウントを引き続き運営し、観光情報のタイムリーな発信やマナー啓発、災害時の情報発信等を行った。

Facebook日本語アカウント/X（旧Twitter）アカウント「京都観光Navi」実績

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
投稿件数	650件	475件	+36.8%
Facebookフォロワー数	約4.0万人	約3.8万人	+5.2%
X(Twitter)フォロワー数	約2.7万人	約1.6万人	+68.5%

Facebook英語アカウント「Visit Kyoto」実績

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
投稿件数	260件	76件	+242.1%
フォロワー数	約49.6万人	約49.8万人	-0.4%

Instagramアカウント「visit\_kyoto」実績

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
投稿件数	37件	55件	-32.7%
フォロワー数	約6.8万人	約6.3万人	7.9%

#### 災害時の情報発信の実績

発信日	概要
令和5年6月2日	大雨警報発令
令和5年7月19日	阪急が8時間ほど不通
令和5年7月26日	大雨洪水警報発令
令和5年8月13日	台風7号に伴う列車の運休の可能性について
	台風接近に伴う、京の夏の旅の変更
令和5年8月14日	新幹線運転取りやめRT（リツイート）
	JR在来線運転取りやめRT（リツイート）
	台風接近に伴う、京の夏の旅の変更（上賀茂神社の拝観前倒し終了）
	台風に関する注意喚起
	台風により、8/15 送り火護摩木受付中止
	台風接近に伴う影響&施設休止情報告知
令和5年8月15日	台風に関する注意喚起（9:15 時点）
	台風に関する注意喚起（18:00 時点）
令和5年8月16日	台風接近に伴う、京の夏の旅の変更
	台風接近に伴う影響&施設休止情報告知
	新幹線のダイヤ乱れ
令和5年8月17日	新幹線のダイヤ乱れ
令和6年1月25日	積雪に伴う施設・イベント休止、交通運行情報
令和6年1月26日	積雪に伴う施設・イベント休止、交通運行情報

#### (4) 事業者向けWEBサイトの充実を中心とした広報・広聴機能の強化

事業者向けWEBサイトの掲載内容を、昨今の情勢変化、各事業における取組方針や状況を踏まえて更新した。また、メールマガジン「京都観光MICE NEWSletter」や、京都観光に関するコラムの配信を通じて当協会の事業活動を周知し、地域や業界における存在感の向上を図った。

特に、令和5年度は以下の項目に取り組んだ。

- ① 当協会職員のインタビューを通じた事業紹介記事の発信
- ② 時宜に応じた取組に携わる会員事業者の取材記事の発信

### 3 海外情報拠点の運営

#### (1) 京都市海外情報拠点運営事業

海外における旅行動向等の情報を収集するとともに、マーケティングに基づいた京都観光のPR活動等を行うため、世界6都市において情報拠点の運営を行った。

京都市内の新規開業施設情報、観光モラルや観光課題対策、イベントの開催をはじめ京都全般の情報等をもとに、各拠点から京都観光の魅力強化及び情報の周知について、現地有力メディアに対し観光・文化情報に加えて発信した。

(海外情報拠点設置都市)

ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、シドニー、台北

#### (2) 海外旅行商談会等出展

国内外で開催されている旅行商談会や展示会に参加し、デスティネーションとしての京都をPRした。また、多くの顧客を有する海外の有力旅行会社関係者に対し、市内の旅行事業者等に関する情報を提供した他、海外から京都への旅行商品造成へのアドバイス及びネットワーク構築を図った。

また、スイスでは展示会と併せて、持続可能な新しい観光に貢献する、世界の優れた観光都市等を表彰する「スイス観光賞“Swiss Tourism Awards”」の表彰式が開催され、京都市は「最高の旅行先“Best Travel Destination”」としてスイス観光賞を受賞した。

参加商談会一覧

日程	商談会（開催地）
令和5年6月	ILTM Asia Pacific（シンガポール）
令和5年10月	VJTM（日本）
令和5年11月	Swiss International Holiday Exhibition（スイス）
令和5年12月	ILTM Cannes（フランス）
令和6年3月	ITB Berlin（ドイツ）

商談の様子



Swiss International Holiday Exhibition



ILTM Cannes

## 4 メディア支援

### (1) 海外メディア取材支援

海外有力メディア（オンラインサイト、TV、雑誌等）の取材誘導と受入を推進し、メディアへの効果的な露出を通じ、京都ブランドの向上を図った。

特に新規ホテルや「とっておきの京都」エリア（分散化対策）、京都観光モラルを含め、最新情報の提供を充実させた。

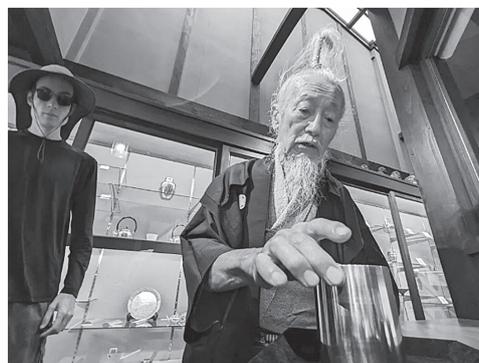
主な支援先：アメリカメディア「Forbes」「VOGUE」、イギリスメディア「The Times」、オーストラリアメディア「Australian Financial Review」、フランスTV「arte」、台湾雑誌「TravelerLuxe」等

支援件数：35件 広告換算額 合計1.3億円以上

（前年度支援件数：37件 広告換算額 合計1.3億円以上）



台湾雑誌「TravelerLuxe」



Veteran tour guide Itsuo Okada examines a canister used for storing matcha tea in Kyoto. CHRISTOPHER ELLIOTT

アメリカ「Forbes」

### (2) ファムトリップの支援

渡航制限解除後、京都観光の新たな取組や情報を伝える機会としたファムトリップ（視察機会）を支援した。特に、「とっておきの京都」エリアへの訪問等の分散化に資する取組等のツアー造成や、伝統産業の体験の紹介、ハイエンド層に向けた宿泊施設の紹介など、訪日関連事業者等と京都市内の観光事業者を繋ぐ支援を行った。（支援実績：22件）

(ファムトリップ支援の一例)



旧三井家下鴨別邸及び専属庭師を、英国のPR会社及びジャーナリストに向けて紹介



西京区内のお寺で特別対応の座禅体験をデルタ航空招請の旅行会社に向けて紹介



「伏水酒蔵小路」(伏見区)や、日本酒を台湾メディア及び旅行会社へ紹介

### (3) 貸出用写真・動画素材の拡充

DESTINATIONとしての京都の露出強化を図るため、メディア関係者等に京都の写真素材を提供する専用サイト「KYOTO IMAGE BANK」及び京都観光動画素材貸出サイト「KYOTO STOCK FOOTAGE LIBRARY」を通じて報道機関等に素材を提供し、メディア露出の更なる拡大を図った。

また、サステナブルツーリズム等を切り口としたプロモーション映像を新たに作成した。

対応件数：「KYOTO IMAGE BANK」20件 「KYOTO STOCK FOOTAGE LIBRARY」24件

### (4) 京都観光の映像コンテンツ制作によるプロモーションの実施

訪日観光客に向けて、オーソドックスな京都に加えて京都観光のサステナブルな観光情報や、新たな魅力を含めた観光PR映像を制作した。



(映像ダウンロード用の受付ページも作成)

### (5) 京都コンシェルジュ研究会

参画するホテルや所属するコンシェルジュとの連携により、一定以上の富裕層を含む観光客に対して必要な観光情報をより効果的に発信した。あわせて、京都を訪れる富裕層マーケットの現状やニーズを把握し、観光客の受入環境の更なる充実を図るための研修を実施した。

参画ホテル数：22施設→26施設 (+ 4 施設)

## Ⅱ 京都ブランドの向上を目指す京都観光振興事業（公益目的事業会計）

### 1 市民生活と調和した持続可能な観光の推進

#### (1) 京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及啓発

京都観光モラルの特設WEBサイトの維持・運営を行い、各種取組に関する情報の更新や、ポスター等の画像ダウンロード用データを配信した。また、以下のとおり各種媒体を活用した発信を行った。

- ・市政広報板（市内約7,500箇所）に、令和5年9月後半の2週間にわたって、京都観光モラルの啓発ポスターを掲示。
- ・交通新聞社「京都散歩地図」（初版2万部）の裏表紙へ広告掲載。
- ・交通新聞社「別冊旅の手帖（京の冬の旅特集号）」（4万5千部発行）の誌面に広告掲載。
- ・Umekoji map（英語版フリーペーパー）に掲載。

さらに、過年度の「持続可能な京都観光を推進する優良事業者」として表彰された事業者のうち、5件の取材を行い、優良事例記事として「京都観光Naviぷらす」など既存の情報媒体と連携して発信した。



「都和旅館」



「アオイ自動車」



「京料理 木乃婦」



「ホテル日航プリンセス京都」



「あじき路地」

前年度に引き続き、京都観光モラル推進宣言事業者を募集し、130件の事業者を登録した。さらに、「持続可能な京都観光を推進する優良事業者」の審査を行い、26件の表彰を行った。



令和5年度「持続可能な京都観光を推進する優良事業者表彰」表彰式  
令和6年1月19日

(2) マナー啓発

- ・日本政府観光局（JNTO）と連携し、海外現地旅行会社や通訳ガイド事業者向けに、マナー遵守に関する依頼文を発信
- ・京都府警と連携し、マナー啓発ポスターのデザインを改訂

**【改訂版】**

**【旧版】**

**【ポイント1】**  
法令に抵触する可能性のある行為を明記し、場合によっては通報により警察官が駆け付ける旨を明記しました。

**【ポイント2】**  
全体的に文字量を減らし、かつ、外国人観光客に分かりやすい表現に修正。

**【ポイント3】**  
京都府警察のロゴを挿入。

- ・地下鉄京都駅及び烏丸御池駅にデジタルサイネージを3台設置し、各種啓発映像を配信
- ・以下の事業者と連携し、啓発ポスター・チラシの掲示やデジタルサイネージの放映を実施

JR京都駅周辺	JR京都駅構内(中央改札(1面)、西口改札(1面))、「特急はるか」着ホーム(3面)、京都ポルタ(最大計38面)、みやこ夢てらす(京都駅八条口、12面(11月限り))等
京阪電車構内等	祇園四条駅インパクトデジタル(9月下旬～11月下旬、計8面) 中書島駅、丹波橋駅、伏見桃山駅、伏見稻荷駅、東福寺駅、清水五条駅、祇園四条駅、三条駅、出町柳駅
近鉄電車構内等	京都駅、東寺駅、十条駅、上烏羽口駅、伏見駅、近鉄丹波橋駅、桃山御陵前駅
嵐電構内等	四条大宮、帷子ノ辻、嵐山、西大路三条上り、山ノ内を除く全駅
関空リムジンバス	車内座席前ポケット(京阪バス運行分) 京都駅八条口案内所、三条出札所
関西国際空港	国内線・国際線到着口(計14面)
コンビニエンスストア	ローソン、セブンイレブン市内全店舗

- ・中国本土市場向けにSNS「Weibo(微博)」を活用したマナー啓発を実施

発信日	概要
令和5年11月16日	紅葉情報、臨時手荷物預かり所について
令和5年11月24日	紅葉情報、Mind Your Mannersについて
令和5年11月30日	嵯峨嵐山における周恩来詞碑、迂回路について
令和5年12月22日	京の冬の旅および社寺での拝観マナーについて
令和6年1月12日	新年のご挨拶
令和6年1月18日	直前キャンセルや食べ残しについて
令和6年2月1日	京都観光モラル在住外国人座談会記事について
令和6年2月9日	手ぶら観光のススメ
令和6年3月14日	桜情報、手ぶら観光について
令和6年3月28日	桜情報、手ぶら観光について

- ・マナー啓発版の一日乗車券や観光案内地図(日本語3万部、英語3万部、簡体字2万部、繁体字2万部 B2サイズ計10万部)の作成
- ・オンライン広告を活用し、京都観光に関心のある方への「旅マエ」啓発、市内に滞在する観光客等を対象とした「旅ナカ」啓発を令和5年11月下旬から令和6年3月末まで実施した。



### (3) 混雑可視化による分散化

外国人観光客の需要回復を受けて、これまで混雑予測に用いてきた日本人の位置情報ビッグデータに、外国人の位置情報ビッグデータを追加し、予測精度の向上を図った。

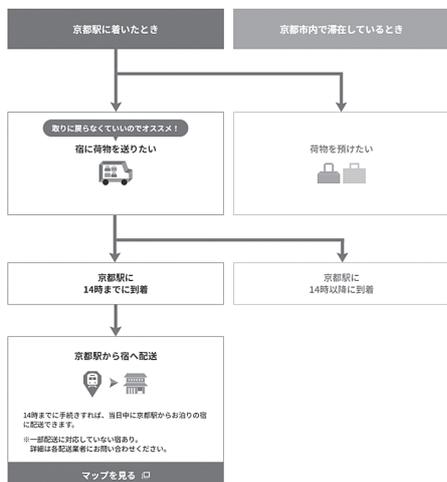
また、これまで市内10箇所に設置してきたライブカメラとは別に、可搬式のライブカメラを2台設置し、一時的な混雑が予想される場所において、以下のとおり配信を行うことで、混雑回避を促した。

対象イベント	配信期間	設置場所
祇園祭	令和5年7月14日～7月24日	京都経済センター 阪急烏丸駅（地下1階）
五山送り火	令和5年8月16日	京阪 出町柳駅 叡山電鉄 出町柳駅
時代祭	令和5年10月22日	河原町三条 早川ビル3階
鞍馬の火祭	令和5年10月22日	叡山電鉄 鞍馬駅
秋の紅葉	令和5年11月17日～12月3日	東山消防署 3階 京都駅烏丸口タクシー乗り場
年末年始	令和5年12月27日～ 令和6年1月8日	東山警察署 祇園交番3階
節分祭	令和6年2月2日～2月4日	吉田神社境内
春の桜	令和6年3月19日～4月14日	京都国際交流会館

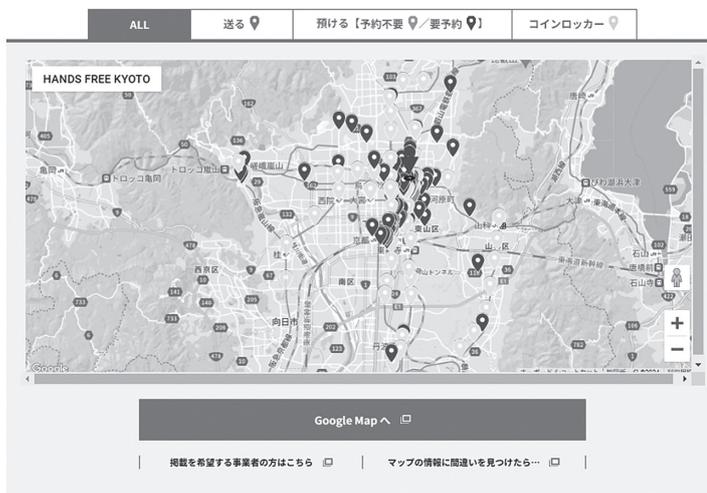
※秋の観光シーズンより設置場所としている「京都駅烏丸口タクシー乗り場」は、配信期間を終了した現在においても、設置場所の了承を得たうえ継続配信している。

#### (4) 手ぶら観光の推進

特設サイト「HANDS FREE KYOTO」を改修し、手荷物預かりサービスが利用できる施設等の位置情報をまとめたGoogleマイマップや、利用シーンに応じたサービスを紹介するためのフローチャート機能を新設した。



フローチャートのイメージ



Google マイマップのイメージ

#### (5) 京都駅の「総合コンシェルジュ」事業の実施

秋の交通課題対策として、「手ぶら観光」や「鉄道を利用した市内移動」の推進を目的に、事業主体である近畿運輸局とともに京都市等と連携し、京都駅に「総合コンシェルジュ」を配置した。また、京都駅ビル内のロッカーや手荷物預かり、託送サービスの稼働状況の一元的な把握、情報配信を行い、その有用性を検証した他、新幹線改札口付近において、手ぶら観光や市内移動ルートを案内するスタッフを配置した。

事業主体：国土交通省近畿運輸局・公益社団法人京都市観光協会

実施日：11月18日、23日～26日、12月3日

実施時間：9時～17時

★ 京都駅実証事業2023秋

- 日本旅行スタッフ1  
市バス乗場 と列有るもバス続々と来てます
- 日本旅行スタッフ4  
クスター 30名ほど並び始めました
- JR東海京都駅内動  
11:20 八条東口の佐川急便一時預かり受付中止しました。
- 日本旅行スタッフ1  
手荷物一時預かり クスター案内お願いします  
または、烏丸口臨時預所
- 日本旅行スタッフ1  
クスター と列ほぼ無し  
烏丸口臨時預所 8割 あと50個程でいっぱいになります  
烏丸口タクシー乗場 と列5メートル程
- 日本旅行スタッフ1  
クスター まだまだ 有りですがと列2列程です



## (6) 京都市認定通訳ガイドを活用したモデルツアーの造成

京都市認定通訳ガイドを活用した外国人観光客向けの京都駅発ツアーを造成した。ツアー実施を通して京都の文化や風習を伝え、手ぶら観光や電車内の立ち振舞い、ごみの持ち帰りなどのモラル・マナーの啓発を行った。

実施期間：令和5年10月2日（月）～10月21日（土）

参加者数：101名



嵐山コース



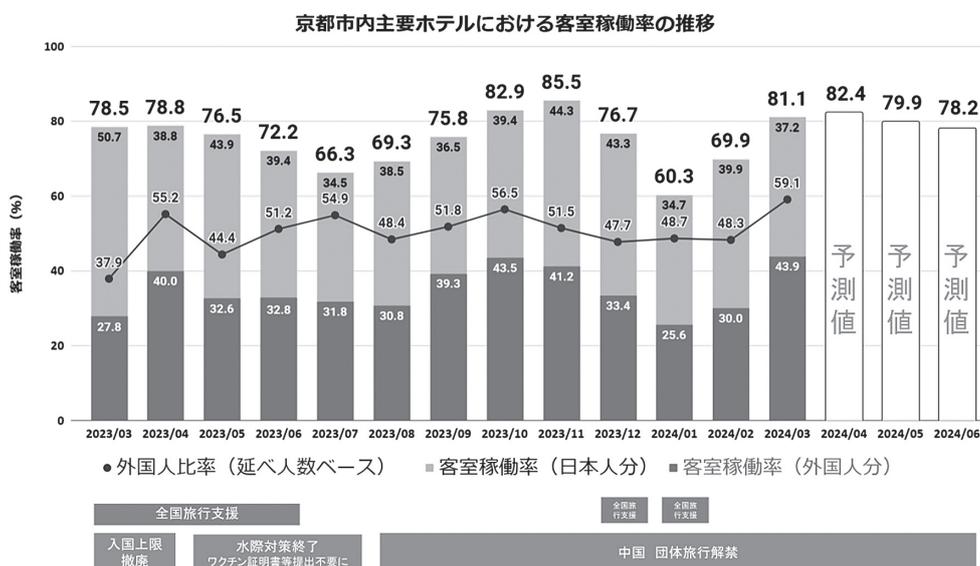
伏見稲荷大社コース

## 2 マーケティング・調査分析事業

### (1) 京都市観光協会データ月報の充実

京都観光の市場動向をいち早く把握できるよう、市内主要ホテルの統計情報や免税店の売上状況、ビッグデータの分析結果等を「京都市観光協会データ月報」として発表した。

指標	令和5年度	令和4年度	増減率
閲覧ユーザー数	19,262人	17,507人	+10.0%
資料ダウンロード件数	6,442件	4,898件	+31.5%



## (2) 観光関連統計の分析結果の解説

京都市において実施している「京都観光総合調査」をはじめ、外部の統計調査を幅広く収集・分析し、より質の高い観光地づくりにつながる施策を策定するための根拠データとして、各種講演・講義活動などを通して発信した。

### 講演・取材対応等の主な実績

日 程	概 要
令和5年 4月 24日	京都産業大学 講義
令和5年 5月 26日	静岡市立服織中学校 修学旅行生向け講義
令和5年 6月 12日	鎌ヶ谷市立第五中学校 修学旅行生向け講義
令和5年 6月 13日	JICA マレーシア行政官向け研修
令和5年 7月 5日	京都産業大学 講義
令和5年 7月 27日	京都国際観光活性化協議会（5K会）講演
令和5年 8月 25日	流通科学大学 講義
令和5年 9月 11日	国士舘大学 講義
令和5年 9月 20日	京都市認定通訳ガイド向け講義
令和5年 9月 20日	東京都 MICE 連携推進協議会 魅力発信部会 第1回
令和5年 9月 30日	九州産業大学 講義
令和5年 10月 4日	北海学園大学 講義
令和5年 10月 5日	大都市観光協会連絡協議会 講演
令和5年 10月 16日	光華女子大学 講義
令和5年 10月 19日	立教大学 社会人向け講座 講義
令和5年 10月 21日	観光情報学会 基調講演
令和5年 10月 24日	東京大学公共政策大学院 講義
令和5年 10月 1日	上越市議会 研修対応
令和5年 11月 2日	日本交通公社 旅行動向シンポジウム
令和5年 11月 28日	京都大学 経営管理大学院 講義
令和5年 12月 3日	公共政策インゼミ 講義
令和5年 12月 15日	熊本県庁「観光経営塾」
令和5年 12月 19日	東京都 MICE 連携推進協議会 魅力発信部会 第2回
令和6年 1月 18日	運輸総研「地域観光産業の基盤強化・事業革新に関する調査研究」委員会
令和6年 2月 6日	観光庁「DMO 全国会議」講演
令和6年 3月 5日	福岡観光コンベンションビューロー 職員研修

(3) 各種調査結果を活用した戦略・計画の策定

経営戦略及び事業計画の進捗把握を目的に、観光庁による先駆的DMOに対する支援も活用しながら、「京都観光のプレイスブランディングに関する調査」及び「京都観光の経済効果の分析調査」「市内観光施設・店舗における外国語表記実態調査」を実施した。「外国語表記に関する調査」は、令和6年2月28日に報告会を実施し、「外国語表記ガイドライン」として法人サイト上で公開した。残り2件の調査結果については、令和6年度中の発表を予定する。



(4) デジタル技術の普及・啓発

催事主催者等の集客事業者に対し、事前予約システムの導入支援やクラウドサービスを活用した実績報告手続きの効率化を通じ、事業者におけるデジタル技術導入を推進した。

(5) 顧客データ管理システムの開発と運用

文化財特別公開等の事業において収集した商品予約履歴データを分析・分類し、顧客ニーズに応じたメルマガジンの個別配信を通じ、平均60%以上の高い開封率を達成した。また、特に関心度の高い読者に限定イベントの招待メールを送信し、定着率の向上や参加者を対象にグループインタビューを行い、ニーズの把握等多角的なマーケティングに取り組んだ。

メルマガジン配信実績の例



令和5年6月16日配信  
京の夏の旅文化財特別公開  
特別内覧会へのご招待



令和5年11月15日配信  
「夜観光」講演ご招待



令和6年1月9日配信  
冬季期間「事前予約の旅」  
対象商品利用者向けキャンペーン

### 3 観光コンテンツの開発

#### (1) 多様なエリアの魅力発掘・発信（場所の分散化）

これまで「とっておきの京都プロジェクト」として推進してきた分散化事業の知見を活かし、京都観光のリピーター層を対象とした伏見、大原、高雄、京北、西京、山科エリアへの取組を深め、隣接エリアも含めた魅力発信、周遊促進に取り組んだ。また、地域の事業者・団体等が主体性を持って面的に取り組む観光誘客策を対象として、コンテンツ造成やPRのノウハウ支援・育成を行う実証事業制度を設けた。



「とっておきの京都プロジェクト」WEBサイトの情報更新件数

	伏見	大原	高雄	山科	西京	京北	合計
イベント・行事	139	38	20	42	96	42	377
特集記事	21	7	3	9	10	8	58
合計	160	45	23	51	106	50	435

#### 【地域実証事業支援制度 採択事業】

エリア名	事業名
山科	～学んで歩く～山科深耕ウォーキング
伏見	伏見エリア回遊と消費拡大着地型事業（食べ歩きクーポン発行）
大原	大原の里山風情を五感で感じる農と食の体験ツアー
西京	京都西山ヒルクライム参拝！powered by Sigr
京北	西の鯖街道京北「寺マルシェ」開催
	京北「千年の森」新リトリートプロジェクト

#### (2) 朝観光・夜観光の推進（時間の分散化）

早朝拝観や夜間イベント等、朝・夜の魅力ある観光コンテンツの開発と情報発信を行った。特に春や秋の京都観光の繁忙期において、朝観光・夜観光に取り組む事業者・団体等と連携した共同プロモーションを実施する等、混雑回避と有効な時間の活用方法を観光客に提案することにより、時間の分散化を図り、宿泊の促進、観光消費の拡大につなげた。



(3) 第48回「京の夏の旅」キャンペーン

① 文化財特別公開の企画実施

若年客層等の需要開拓を目的に、「新選組」をテーマとして普段見学することのできない社寺や施設等の文化財特別公開や定期観光バス、タクシー等による特別コースを企画する他、観光の回復を見据えた需要の獲得に向けて、インバウンドへの対応や夜観光との相乗に取り組んだ。

② 参加体験型イベントの企画実施

奥深い京都のほんものの魅力に触れ、日本文化の原点に出会うことのできる体験型観光プログラム「京都『千年の心得』」をはじめ、夏の京都ならではの観光コンテンツを事前予約制で提供し、観光の質の向上や混雑を回避できる観光スタイルを訴求した。



○文化財特別公開及び定期観光バス特別コース実績

		令和5年度 (第48回)	令和4年度 (第47回)	令和元年度 (第44回) ※コロナ前
文化財特別公開		102,556人	106,447人	118,810人
定期観光バス特別コース	Lコース	824人	1,612人	2,414人
	LSコース	1,109人	353人	718人
	AKコース	—	285人	218人
	LGコース	—	—	902人
	計	1,933人	2,250人	4,252人

<参考>「京の夏の旅」文化財特別公開箇所

令和5年度(第48回)	令和4年度(第47回)
上賀茂神社、下鴨神社、角屋、輪違屋、壬生寺本堂・壬生塚、旧前川邸東の蔵、新徳寺、仁和寺御殿・庭園、旧三井家下鴨別邸	上賀茂神社、下鴨神社、北野天満宮宝物殿、大覚寺霊宝館、仁和寺金堂・御影堂、龍安寺仏殿・西の庭、旧三井家下鴨別邸

<参考>「京の夏の旅」定期観光バス特別コース

	令和5年度(第48回)	令和4年度(第47回)
L	新選組と幕末ゆかりの地をたずねて	京の夏の風物詩 高雄の川床と世界遺産めぐり
LS	京都・世界遺産の美 国宝と名庭めぐり	源氏の重宝・伝説の刀剣をめぐる
AK	—	世界遺産パワースポット早回り!

#### (4) 第58回「京の冬の旅」キャンペーン

##### ① 非公開文化財特別公開の企画実施

大河ドラマや干支(辰年)にちなみ、普段は見学することのできない寺社や施設の特別公開、冬ならではの風情を楽しむ定期観光バス、タクシーによる特別コースを企画した。JRグループと連携し、WEBやSNSを活用したプロモーションに取り組むことで、幅広い世代にキャンペーンを訴求し、全国からの観光誘致を実施した。

##### ② 参加体験型イベントの企画実施

「京の冬の旅」の魅力を深めるとともに、「京の冬の旅」を軸とした各事業の効果を相乗的に高めるため、「京都『千年の心得』」の他、「朝観光・夜観光の推進」、「京の食文化魅力発信事業」、「隠れた名所の活用等による分散化」、「多様なエリアの魅力発掘・発信事業」等とも連動した各種体験型コンテンツをJRグループと連携して訴求した。



○非公開文化財特別公開及び定期観光バス特別コース 実績

		令和5年度 (第58回)	令和4年度 (第57回)	令和元年度 (第54回)
非公開文化財特別公開		363,581人	272,556人	269,355人
定期観光バス 特別コース	L1コース	2,196人	1,007人	1,860人
	L2コース	2,696人	1,117人	1,103人
	L3コース	2,152人	786人	987人
	L4コース	631人	—	1,215人
	計	7,675人	2,910人	5,165人

<参考>「京の冬の旅」文化財特別公開箇所

令和5年度 (第58回)	令和4年度 (第57回)	令和元年度 (第54回)
泉涌寺舍利殿、泉涌寺雲龍院、廬山寺、相国寺法堂・方丈、相国寺光源院、相国寺慈雲院、大徳寺法堂・仏殿、大徳寺龍源院、仁和寺金堂(裏堂)、渉成園(枳殻邸)園林堂、西本願寺飛雲閣(外観)、東寺五重塔、醍醐寺霊宝館、僧侶がご案内する特別拝観 東本願寺諸殿、僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺書院・飛雲閣(外観)	知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園、清水寺 成就院、大徳寺 三玄院、大徳寺 総見院、大徳寺 芳春院、上徳寺、妙心寺 壽聖院、妙心寺 玉鳳院、仁和寺 御殿・庭園、東本願寺 大寝殿・白書院、東寺 五重塔、醍醐寺 三宝院、醍醐寺 理性院、僧侶がご案内する特別拝観 東本願寺 諸殿、僧侶がご案内する特別拝観 西本願寺 諸殿	霊鑑寺、知恩院 大方丈・小方丈・方丈庭園、高台寺、泉涌寺 霊明殿・御座所、泉涌寺 雲龍院、泉涌寺 新善光寺、大徳寺 法堂・方丈・唐門、大徳寺 総見院、大聖寺、三時知恩寺、光照院、宝鏡寺、妙心寺 仏殿・浴室「明智風呂」、妙心寺玉鳳院、東寺 五重塔

<参考>「京の冬の旅」定期観光バス特別コース

	令和5年度 (第58回)	令和4年度 (第57回)	令和元年度 (第54回)
L1	紫式部と源氏物語ゆかりの地をたずねて	徳川家康ゆかりの寺院で非公開文化財をめぐる旅	～御大札奉祝～ 高雅な御所文化 京の尼門跡寺院めぐり
L2	辰年のご利益 京の龍めぐり	大徳寺と妙心寺 武将ゆかりの非公開の禅寺をめぐる旅	～御大札奉祝～ 皇室ゆかりの寺院をたずねて
L3	襖絵・絵画の美をたずねて 特別 京の冬の旅初公開めぐり!	二つの世界遺産 密教美術の宝庫・東寺と醍醐寺をたずねて	“香り”で楽しむ京の旅 ～写真では語れない旅の思い出を～
L4	世界遺産の美! 「京の三名園」と名庭めぐり	「雪月花の三庭苑」めぐり	～大河ドラマ「麒麟がくる」放映～ 明智光秀と戦国の英傑ゆかりの寺めぐり

(5) 秋季の観光誘致

事前予約制の体験型コンテンツの提供による質を重視した観光誘致、事業者や団体等と連携したエリアや時間の分散化についての情報発信を目的に、「京都 秋の観光のススメ」を発行、混雑緩和を通じた京都観光の創出と、宿泊需要喚起に取り組んだ。



テーマ	内容
特別公開	金戒光明寺、浄住寺、東福寺正覚庵、霊鑑寺、宝鏡寺、西陣興聖寺、旧三井家下鴨別邸、ガイドウォークツアー
夜観光	金戒光明寺、仁和寺、ひかりの京都 2023、萬福寺 KYOTO de petit 能、ギア、市民狂言会、ギオンコーナー、よしもと祇園花月（よるよる新喜劇）、京都市交響楽団フライデー・ナイト・スペシャル、京都+温泉
事前予約プラン	貸切タクシープラン、本能寺、仁和寺、福寿園、嵯峨嵐山文華館、佐々木酒造、建仁寺、金剛能楽堂、スカイホップバス、金戒光明寺、京都モダン建築祭等 ※観光庁補助金を活用した事業者のイベントや観光コンテンツを掲載
モラル・マナー	京都観光モラル、観光快適度マップ、ライブカメラ、手ぶら観光のススメ等

#### (6) 連携協定「ひろし・みやこ同盟」に基づく取組の推進

世界遺産をはじめとする歴史や文化等、観光地としての特性や取組に共通性を持つ、広島及び京都への誘客促進に向けて、広島県観光連盟と締結した連携協定に基づき、両地域の通訳ガイド同士やインバウンドコンテンツを手掛ける事業者同士の交流機会の創出、宿泊施設での両地域をPRする催事への協力等を通じ、両地域の受入態勢の強化や観光誘客に取り組んだ。



京都インバウンドカフェでの事業者交流



両地域の通訳ガイド交流



宿泊施設でのPRイベント

## (7) 京都市認定通訳ガイドの育成・活躍支援

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市認定通訳ガイド「京都市ビクターズホスト（KVH）」（英語・中国語・フランス語・スペイン語、約150名）に対し、通訳ガイドのサービス品質維持・向上を目的に、より実践的なガイディングスキルや具体的な専門知識を学べるスキルアップ研修を実施するとともに、3年ぶりに新規通訳ガイドを募集し、選考した40名に基礎研修を行った。

<スキルアップ研修 実施回数：全17回 参加者数：延べ246名>



観光モラル講習＋事業者面談会



データから見る京都観光（オンライン）



無鄰菴での実地研修



京都迎賓館での実地研修

また、京都市認定通訳ガイドの就業支援及び品質向上を目的として、平成29年から二条城にて公式定時ガイドツアーを実施している。実施にあたっては二条城事務所と協議のうえ、英語ツアーに加え、日本語ツアーも実施しており、英語ツアーを京都市認定通訳ガイドが担当している。

公式ガイドツアーはコロナ禍で休止していたが、令和5年3月～5月に試行実施を開始し、7月から、本格的に通年で定時ツアーを再開した。

実施期間（試行実施も含む）：令和5年4月1日～令和6年3月31日

実績（英語）：団体 298名、個人4,011名

実績（日本語）：団体2,069名、個人4,072名

## 4 伝統行事・伝統文化の振興

### (1) 四大大行事の執行支援

#### ① 三大祭観覧席設置事業

葵祭、祇園祭、時代祭の魅力のPRとともに、快適に祭をより近くに感じていただける有料観覧席を販売した。葵祭については、4年ぶりの有料観覧席の設置、販売となった。専門の販売システムを有する事業者による在庫管理や販売データの活用により、効率的な観覧席券の販売に取り組んだ他、観覧席と祭にちなんだ特別体験ツアーを合わせて造成するなど、高付加価値化を図った。

また、新たな収益モデルを拡充するため、企業等からの広告協賛を募集し、祭への執行補助金を安定・継続的に拠出できるよう、祇園祭、時代祭において取り組んだ。さらに、各祭への関心を高めるため、各執行団体等の協力のもとプロモーションを実施するとともに、メディア等へのアプローチの強化、関係団体やインフルエンサーと連携し積極的なSNS発信を行った。

#### ② 伝統行事執行補助

有料観覧席やグッズの販売収益を、京都四大大行事（三大祭及び京都五山送り火）への執行補助金として交付した。また、葵祭及び京都五山送り火協賛会の事務局として、協賛金の勧募活動の他、行事を支える補助団体や執行団体との連携のもと、各協賛会の円滑な運営を通じ、行事の保存継承を推進した。

### (2) 観光庁「観光再始動事業」の活用

観光庁による、インバウンドの本格的な回復を図るための特別な体験の創出、発信を目的とした「観光再始動事業」を活用し、「GIONプロジェクト」を実施した。祇園祭におけるプレミアム観覧席の設置や山鉾町の協力を得て、祭に携わる特別体験を提供した他、世界文化遺産の社寺等における人数限定の高付加価値体験を造成、販売した。

また、「京都御苑で伝統文化に触れる一日」では、国民公園京都御苑内の施設を専用車で移動しながら訪問し、その歴史的価値を体感するプレミアムツアーや、国内外の観光客や市民が広く参加できるマルシェを開催した。

#### 【GIONプロジェクト】

祇園祭プレミアム観覧席（7月17日） 設置84席／販売65席

山鉾での特別体験（函谷鉾：7月16日・17日、鷹山：7月16日）

世界文化遺産社寺等での特別体験（西本願寺、東寺、下鴨神社等）

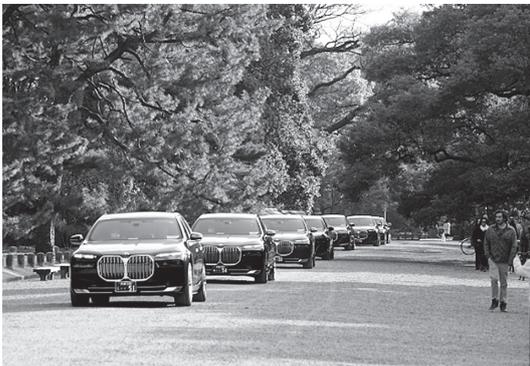
NAKED夕涼み2023 世界遺産・上賀茂神社（7月6日～7月17日）



【京都御苑で伝統文化に触れる一日】

京都御苑プレミアムツアー（1月12日）

京都御苑マルシェ（2月3日）



(3) 伝統文化・伝統産業等の体験型事業（京都「千年の心得」）

京都ならではの奥深い魅力に触れる体験を訴求するブランドとして、JRグループや旅行会社等と連携して予約制体験コンテンツを発信した。

(4) 京の食文化魅力発信事業

① 京料理展示大会

京都料理組合が主催する「京料理展示大会」（12月）において、京の食文化の発信に努めた。

② 京都レストランウインターズスペシャル

京都国際観光レストラン協会の事務局を務めるとともに、京都レストランズスペシャル実行委員会の事務局を担い、「京都レストランウインターズスペシャル2024」の開催を通じ、京の食文化の発信に努めた。

	2024（今回）	2023（前回）
開催期間	2月1日～3月17日	2月1日～3月27日
参画店舗数	185店	153店
特別メニュー注文数	15,579	16,537
特別メニュー利用額	113,520千円	105,310千円
平均単価	7,287円	6,697円

## 5 地域振興及び面的観光の促進

### (1) 琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会の運営

京都市、滋賀県、大津市等で構成される「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」の事務局を担い、「びわ湖疏水船」の運航事業をはじめ、令和2年6月に「日本遺産」に認定された琵琶湖疏水を活用したフィールドミュージアム整備事業等、琵琶湖疏水沿線の魅力発信事業を推進した。

「びわ湖疏水船」の運航事業では、乗船者数累計5万人を達成し記念事業を実施した。春季運航の大雨や秋季運航の倒木等により運休が発生したものの、事故や大きなトラブル等もなく目標通りの販売率を達成することができた。年間の乗船料収入においては、一部乗船料の変更により昨年比収入増となった。

「びわ湖疏水船」への関心を高めるため、新たな船の整備等に必要な資金の一部を調達することを目的にクラウドファンディングを実施し、琵琶湖疏水沿線の魅力発信と持続可能な通船運営に努めた。

フィールドミュージアム整備事業では、琵琶湖疏水の天津間門の電動化工事完了を受け、実証検証を重ねたうえで令和6年3月末より琵琶湖・大津港までの航路の営業延伸を実現した。

#### 【びわ湖疏水船運航実績】

(春季) 令和5年3月25日(土)～6月11日(日) 62日間

(秋季) 令和5年10月1日(日)～11月30日(木) 47日間

	春 季	秋 季	合 計
乗船者数	7,110 席(7,149 席)	5,451 席(5,731 席)	12,561 席(12,880 席)
乗船率	86.9%(85.8%)	92.2%(94.5%)	89.1%(89.5%)

( ) 内は計画通り運航した場合の乗船者数及び乗船率

### (2) 花灯路・ライトアップ支援事業

観光における時間と場所の分散化を図り、京都全域での夜観光、宿泊観光の推進による経済効果の波及を狙う「花灯路・ライトアップ支援事業」(京都府・京都市等で構成する協議会にて実施してきた「京都・花灯路」の後継事業)の事務局(京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会、京都市観光協会、京都文化交流コンベンションビューローで構成)において、「京都・花灯路」で使用された行灯等照明器具の貸出事業を実施した。

#### 【令和5年度実績】

○行灯貸出基数 4,010基

○行灯使用料 3,482,103円

### (3) 京の七夕

京都府、京都市等で構成する「京の七夕実行委員会」の事務局を務め、旧暦の七夕にちなみ、8月上旬に「祈り」や「願い」をテーマに、京都各地の会場で開催される「京の七夕」関連事業の広報を支援し、併せて笹飾りの配布など、民間事業者等が行う事業の支援を行った。

また、京都府域への誘客を狙った企画を取り入れるなど、積極的な事業展開を図った。

- 「願いごと」募集期間 令和5年7月1日～8月31日 62日間（令和4年度 61日間）
- 「願いごと」件数 22,051件（令和4年度 20,274件）

#### (4) 二条城との連携

元離宮二条城において実施される春・夏・秋に開催される、夜間ライトアップに対応した売店営業や、春・秋における二条城まつりでの京都物産出品協会と連携した物産展の運営等により賑わいを創出し、国内・インバウンド観光客の誘致につなげた。

また、売店に併設する「二条城・伝統の逸品」コーナーでは、京都の伝統的な技術や技法を用い、二条城の建築物や障壁画等をデザインに活かした伝統産品を販売し、二条城と伝統産業の更なるPRに努めた。

##### 【京の名産品展】

- 二条城桜まつり2023 令和5年3月17日～4月15日
- 二条城まつり2023 令和5年10月27日～12月3日
- 二条城桜まつり2024 令和6年3月8日～4月7日

## 6 修学旅行受入環境の整備

### (1) 京都観光推進協議会への参画

京都観光推進協議会と連携し、修学旅行で京都へ訪れた各地の学校を訪問し、実情や要望等を直接聞く学校訪問事業を実施した他、令和5年5月9日に京都駅において修学旅行歓迎式を実施した。

### (2) 修学旅行受入環境の整備

修学旅行の受入環境整備の一環として実施している修学旅行パスポート事業について、新たな協会会員に参画を促した。さらに、優待内容を業種別に検索できるよう特設ホームページを充実した。

また、カード型パスポートを3万部作成し、修学旅行相談窓口及び京都総合観光案内所で配布するとともに、特設ホームページからのダウンロード利用も積極的に推進した。

さらに、下見等で来所される学校関係者に対し、修学旅行パスポート等の資料提供や相談対応を引き続き実施した。

- 令和5年度 来所件数等
  - ・修学旅行相談窓口（京都市観光協会） 87件（令和4年度127件）
  - ・京都総合観光案内所 230件（令和4年度259件）
- 修学旅行パスポート
  - ・協賛施設数 286施設（令和4年度294施設）

## 7 事業者支援

### (1) 買物環境整備・キャッシュレス促進

京都市が包括連携協定を締結している大手クレジットカード会社Visaや地域情報化推進団体KICSと連携し、非接触決済（キャッシュレス決済）の利便性を広くPRするとともに、土産店や飲食店等での導入及び観光客、市民の利用を促進した。

また、コロナ禍で休止していた免税店向け多言語コールセンターを再開し、京都市とともに共同事業として運営した。

## (2) 宿泊施設魅力発信事業の実施

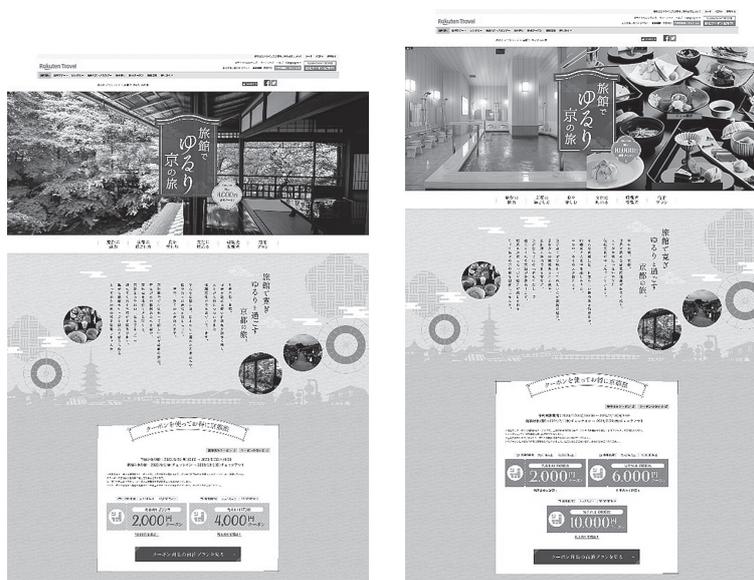
旅館の魅力発信強化を目的に、夏と冬の閑散期において、OTAサイト（楽天トラベル）を活用し、WEB上で旅館の魅力を発信する。また、OTAサイトからの予約に対して限定クーポンを付与することで、旅館の宿泊を促進させる事業を展開し、経営強化を支援した。

特設ページ	「旅館でゆるり京の旅」 京都の魅力を訴求する「京都の食」「京都の文化」「朝・夜観光」「カップル・女子旅」「ファミリー」「平日限定」「長期滞在（連泊）」といったプランを造成
キャンペーン期間	夏：掲載期間 8/21-9/18 予約期間 8/21-9/30 宿泊期間 9/1-10/1 冬：掲載期間 1/22-2/18 予約期間 1/22-2/28 宿泊期間 2/1-2/29
クーポン金額	夏：①2,000円クーポン（大人1名以上計10,000円（税込）以上） ②4,000円クーポン（大人1名以上計20,000円（税込）以上） 冬：①2,000円クーポン（大人1名以上計8,000円（税込）以上） ②6,000円クーポン（大人2名以上計18,000円（税込）以上） ③10,000円割引クーポン（大人2名以上計30,000円（税込）以上）
対象施設	京都観光旅館連盟加盟施設で、楽天トラベルに登録している施設
クーポン実績	夏：①2,000円クーポン 25枚 ②4,000円クーポン 113枚 冬：①2,000円クーポン 21枚 ②6,000円クーポン 32枚 ③10,000円クーポン 78枚

### ○利用者属性

年代別では、男性・女性とも30歳・40歳代の利用がもっとも多く、宿泊構成では、子供連れ、成人男女、男性一人が多かった。居住地別では、東京都、神奈川県、大阪府、愛知県からの利用が多く見受けられた。

### ○キャンペーンサイト（特設ページ）



### (3) 観光事業者の交流の場の創出

観光事業者間の協業や、京都観光行動基準（京都観光モラル）の普及・啓発を推進するため、京都信用金庫との連携協定のもと、会員をはじめとした観光事業者・従事者や大学関係者等を交えて意見交換等を行うミートアップイベントを定期的に開催した。

令和5年 7月11日	2022年度「インバウンドイノベーション京都」の成果報告と交流会
令和5年 9月1日	どうなる中国市場？コロナ禍を経た旅行・消費動向の変化
令和5年 10月18日	“世界の首都”にふさわしい？多言語表記から考えるおもてなし
令和6年 1月29日	「“売れる”体験コンテンツとは ～広島と京都における事例紹介と交流～」
令和6年 2月7日	英国の最新メディア事情と富裕層旅行トレンド

### (4) インバウンド向け事業企画の支援

京都信用金庫との連携協定のもと、観光事業者によるインバウンド向け新規事業アイデア募集を通じ、京都観光行動基準（京都観光モラル）の実践等にいたる、上質な観光コンテンツの造成を支援する「インバウンドイノベーション京都」を実施。令和5年度は6社を新たに採択し、観光コンテンツの企画から販売までの伴走支援を行うと共に、市内宿泊施設や海外メディア担当者、京都市認定通訳ガイド等とのマッチングを促進し、業界の活性化や情報発信等を図った。また、京都で体験コンテンツの企画や販売、受け入れを行う上で知っておいていただきたいポイント等をまとめた「観光コンテンツ造成支援ハンドブック」を発行した。



### (5) 担い手育成支援事業

観光需要の回復に伴う担い手不足を改善し、事業者の経営を支援するため、京都の観光産業で働く魅力等を発信する特設サイト「京都観光はたらくNavi」を開設し、先進的な取組を行っている事業者のインタビュー記事や、人材の確保や定着を促すための研修動画を制作した。



特設サイトのトップページ画面

さらに、コロナ禍を経た観光の回復に伴い、観光業界における担い手不足の深刻化が見込まれたことから、とりわけ厳しい環境におかれている宿泊・飲食事業者に対し、求人サイト等に求人情報を掲載するために必要となる経費の一部を支援する「宿泊・飲食事業者への求人サイト等掲載支援補助金事業」を実施した。(補助金交付：467事業者)

### Ⅲ 入洛観光客に対する案内事業（公益目的事業）

#### 1 京都総合観光案内所「京なび」運営業務の受託

京都総合観光案内所「京なび」の運営業務を同運営協議会より受託し、年中無休（8時30分～19時）で来所者をお迎えした。文化財特別公開や年中行事、各種イベント等の観光案内の他、交通案内、当日の宿泊紹介、美術館・博物館及び交通チケットの販売等を行った。

外国人観光客には、常時3か国語（英語、中国語、韓国語）で対応するとともに、京都府域のみならず全国の観光案内・情報提供を行った。特に台風等の災害時には、交通機関の運行情報を多言語で提供した他、社寺や観光施設の開閉情報等を所内のサイネージや京都観光Navi、SNS等を通じて広く発信した。

また、これまで蓄積した相談情報をもとに、FAQサイトや新たに導入した「京なびオンライン（自動質問応答システム）」の活用を促し、スムーズかつ効率的な観光案内を推進した。

相談者総数については、日本人相談者数が前年度比83.4%と減少した一方、外国人相談者数は352%と大幅に増加したことから前年度比126.4%となった。

○京都総合観光案内所の相談状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

項目	相談者数	前年度	増減率
日本人相談者	210,177人	251,972人	83.4%
外国人相談者	187,237人	53,186人	352%
電話相談	22,508人	27,185人	82.8%
相談者総数	419,922人	332,343人	126.4%
自動カウント数	870,820人	708,977人	122.8%

\*自動カウント数は相談者数を含む来所者の合計

#### 2 観光地図の作成と配布

観光案内所における基本ツールである多言語の観光地図について、観光客の回復を踏まえ、観光協会会員から多くの広告協賛を得て作成し、京なびで配布したほか、要望に応じて市内の宿泊施設等へ提供した。

○令和5年度作成部数

日本語版 15万部 英語版 26万部

### 3 市内観光案内所との連携

京都駅周辺の観光案内所運営団体をメンバーとする「京都駅ホスピタリティ向上に関する検討会」を開催し、春・秋のトップシーズンにおける取組等について情報提供や意見交換を行い、観光客のみならず市民の満足度向上に向けて混雑回避や分散観光の推進に努めた。

また、ビジネスチャットツールを活用し、日々の観光情報をはじめ、台風や大雪等の災害情報、交通機関の運行情報をリアルタイムに共有し、正確かつきめ細かな情報提供を行った。

さらに、京都市が主催する「京都市内観光案内所ネットワーク会議」に参画し、各案内所と連携を深めた。

## IV 観光客の利便向上を図る販売事業（収益事業等会計）

### 1 元離宮二条城大休憩所内店舗の運営

京都市からの受託事業として、物販コーナーとイートインコーナーを引き続き運営し、二条城限定のオリジナル商品の開発、城内イベントと連動した商品やメニューを企画し、来城者の満足度向上に努めた。

令和5年度は、観光需要の回復に伴い来城者数が増加した。レジデータや来城者数データをもとに、商品入替や陳列見直しを行う等柔軟に対応し、客層やターゲットに応じた商品を充実させた結果、売上を確保することができた。

引き続き、持続可能な観光の視点に立ち、地元産品やサステナブルをキーワードにしたオリジナル商品の取り扱いを拡充した。

### 2 有料出版物・乗車券・入場券等の販売

京なびにおいて、交通チケット、催事観覧券、博物館・美術館入場券、各種出版物等を販売した。様々な事業者とより一層連携し、訪日客用交通チケット等、ニーズに対応した商品の取扱拡充に努めた。

また、観光客の利便性をさらに高めるため、クレジットカードに加え、電子マネーやQRコード決済へも対応し、キャッシュレス決済を促進した。

## V 観光施設等運営事業（収益事業等会計）

### 1 旧三井家下鴨別邸の管理運営

重要文化財施設「旧三井家下鴨別邸」の指定管理業務について、当協会（代表団体）、賀茂御祖神社（下鴨神社）、(株)曾根造園、三井不動産レジデンシャルサービス関西(株)の4者で共同事業体（コンソーシアム）を構成し、引き続き、「文化財の保存と活用のモデルとなる持続可能な施設運営」を目指して施設管理及び事業運営を行った。令和5年度から令和8年度までの新たな指定管理期間の1年度目となった令和5年度は、入館者数は前年度から減少したものの、コロナ禍に開始した「事前予約」「少人数制」

の食事プラン等の自主事業が引き続き好調であったことに加え、年中行事にまつわる京菓子や「源氏物語」等テーマ性のあるメニューを取り入れた喫茶運営が好評を得て、収益増に貢献した。

なお、下半期には、業務効率化やレジデータを活用した施設運営に向け、ポスレジ導入やキャッシュレス決済の開始によるDX化推進に着手した。

入館者数

今年度	前年度参考
50,509 人	54,995 人

## VI 共催・後援・会員向け事業（収益事業等会計）

### 1 会員・事業者向けメールマガジンの運営

京都文化交流コンベンションビューローと共同で配信している「京都観光MICE NEWSletter」を引き続き配信し、当協会の活動予定や最新の情報を広く提供した。あわせて、会員満足度の向上を目的に「優待サービス」の紹介等を実施し、会員同士の交流や事業連携を図った。

	配信回数		配信対象者数		開封率	
	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年
京都観光 MICE NEWSletter (事業者向けメールマガジン)	47回	42回	12,453名※	15,313名	40.4% (5,031名)	32.2% (4,930名)
協会会員限定メールマガジン	30回	-	約1500社	-	32.8%	-

※未開封者のクリーニングを実施した為、前年度よりも配信対象者は減少した。

### 2 会員向け多言語対応支援

外国人観光客の観光消費拡大に向けた取り組みのひとつとして、令和4年度から実施する会員向け多言語コールセンターの運営を継続し、宿泊施設やサービス提供事業者をサポートした。

#### (1) 多言語電話通訳サービス

期 間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
通訳言語	①英語、中国語（北京語）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語 ②タイ語、中国語（広東語）、フランス語、ロシア語、ベトナム語
時 間	①24時間 ②10時～18時
利用件数	103件

#### (2) 多言語翻訳サービス

期 間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
翻訳言語	英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、タイ語、フランス語、イタリア語、ドイツ語
利用件数	295件

### 3 会報の発行

当協会の活動状況や事業報告、新入会員の紹介等を掲載する会報誌「京観協だより」を発行した（夏と冬の年2回）。

また、京都観光に関する最新情報や会員情報等、有益な情報をタイムリーに提供するため、メール配信による会員向け情報発信の充実を図った。

### 4 表彰

観光に携わる事業者や従業員の意識高揚を図るため、事業振興に貢献した個人及び団体を表彰した。

	被表彰者数	前年度参考
観光事業功労者	1人	1人
観光業界功労者	4人	6人
優良観光従事者	45人	37人
花街芸妓表彰	1人	2人
合計	51人	46人

### 5 共催・後援

京都の観光振興につながる年中行事・催事を中心に共催・後援を行い、各事業の宣伝に努めた。

共催・後援件数	前年度参考
152件	144件

## VII 関係団体共同事業（収益事業等会計）

### 1 広域観光事業

#### (1) 全国京都会議

京都と全国の「小京都」と「京都ゆかりの市町」で組織している全国京都会議の事務局を運営し、広域的な観光誘致宣伝活動を実施した。令和5年度は、兵庫県たつの市での総会開催や誘致宣伝物の作成等、会員市町間で連携を図り、各市町への誘客促進と魅力発信の強化に引き続き取り組んだ。

#### (2) 大都市観光協会連絡協議会

政令指定都市や大都市の観光協会運営について情報交換を行った。令和5年度は21年ぶりに京都において10月5日及び6日に会議を開催し、観光法人の課題について議論や意見交換を行い、相互に魅力ある観光地づくりを推進した。

#### (3) 全国足利氏ゆかりの会

全国足利氏ゆかりの会に引き続き参画し、足利氏の顕彰とゆかりの地の発展のため、情報交換や交流促進に努めた。

## 2 京都観光施設協議会

京都市内及びその近郊の観光施設等で構成する「京都観光施設協議会」の事務局を担当し、ホームページによる施設情報発信や、京都観光推進協議会と連携した修学旅行誘致事業、旅行会社に対する誘致キャラバンの実施等、参画観光施設のPRとともに、京都への誘客事業を共同で実施した。

## 3 その他

関係業界団体の事業に参画し、地域経営の方針の浸透を図る。主な連携先は以下のとおり。

### ○情報発信の強化

- ・京都市メディア支援センター
- ・京都文化交流コンベンションビューロー
- ・京都創生推進フォーラム

### ○地域連携

- ・京都市地域活性化総合特別区域協議会
- ・京都岡崎魅力づくり推進協議会

### ○コンテンツ・イベント関連

- ・文化庁連携プラットフォーム
- ・大阪・関西万博きょうと推進委員会
- ・京都文化カプロジェクト実行委員会
- ・京都マラソン実行委員会
- ・京都学生祭典企画検討委員会
- ・京都ブランド名産品公正取引協議会
- ・京都一周トレイル会
- ・京都ソーデーウォーク実行委員会
- ・京都市温泉観光活性化協議会
- ・京都レストランスペシャル実行委員会
- ・京都映画賞実行委員会
- ・「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」京都市実行委員会

### ○交通

- ・「歩くまち・京都」推進会議
- ・公共交通機関でおこしやす・京都市協議会
- ・嵐山及び東山交通対策研究会
- ・京都エリア観光渋滞対策実験協議会
- ・京都市地域公共交通計画協議会

### ○その他

- ・観光立国推進協議会
- ・関西観光本部
- ・関西ツーリズムグランドデザイン2025策定会議

- ・京都テロ対策ネットワーク
- ・京都市まちの美化推進事業団
- ・「スローライフ京都」大作戦推進会議
- ・国民公園協会京都御苑運営協議会
- ・「伝統産業の日」実行委員会
- ・東海自然歩道連絡協会
- ・明日の京都 文化遺産プラットフォーム
- ・ITコンソーシアム京都
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・伝教大師最澄1200年魅力交流委員会
- ・京都花街おもてなし文化振興協議会
- ・京都－歴史と文化発信事業推進実行委員会
- ・京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム
- ・鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会
- ・古典の日推進委員会
- ・京都モダン建築祭実行委員会

## Ⅷ 事務報告

（令和5年度定時総会～令和6年度定時総会）

### 1 総会

定時総会（ウェスティン都ホテル京都） 令和5年6月14日

### 2 理事会

（京都ブライトンホテル） 令和6年3月22日

（ホテル日航プリンセス京都） 令和6年5月24日

### 3 委員会

#### (1) 総務企画委員会

（ホテルオークラ京都） 令和6年3月14日

（ザ・サウザンド キョウト） 令和6年5月14日

#### (2) 総務企画委員会JR部会

（リーガロイヤルホテル京都） 令和5年9月5日

### 4 決算監査会

令和6年5月22日